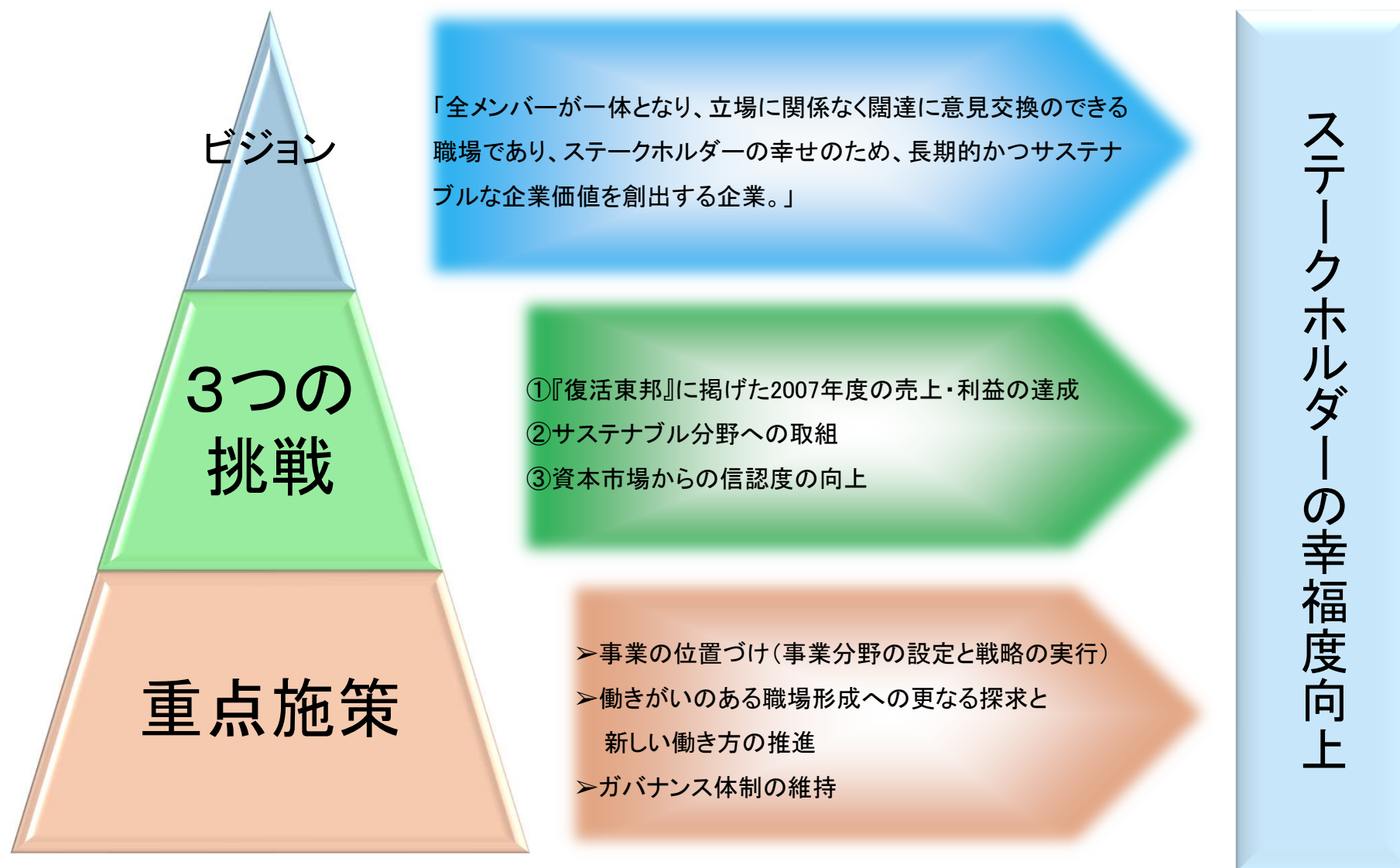


中期経営計画進捗報告(2025年度実績)
(2024年度～2026年度)

《*REVIVE2026*》～復活東邦に向けて～

2026年7月1日

中期経営計画骨子



中長期的な企業ビジョン 3つの挑戦

企業ビジョンを達成するために…

中期経営計画9ヵ年(2017～2026年度)では過去最高水準の
営業利益314百万円以上を達成し、「復活東邦」を成し遂げる。

第三期中期経営計画概要

最終的な目標(企業ビジョン)が達成できるよう、3つの挑戦を進める

- ①「復活東邦」に掲げた2007年度以上の売上高・利益の達成
- ②サステナブル分野への取り組み
- ③資本市場からの信認度の向上

第1期
(2017-2019)

既存事業の強化
新たな分野への種を蒔く

第2期
(2021-2023)

既存事業の選択と集中
苗を育てる

第3期
(2024-2026)
稲穂を刈り取る

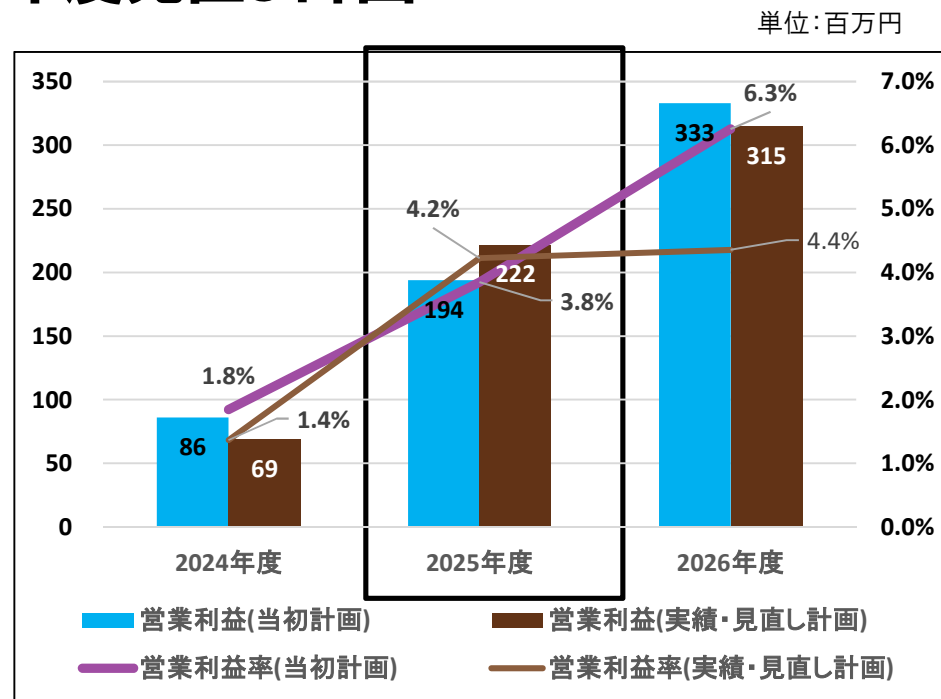
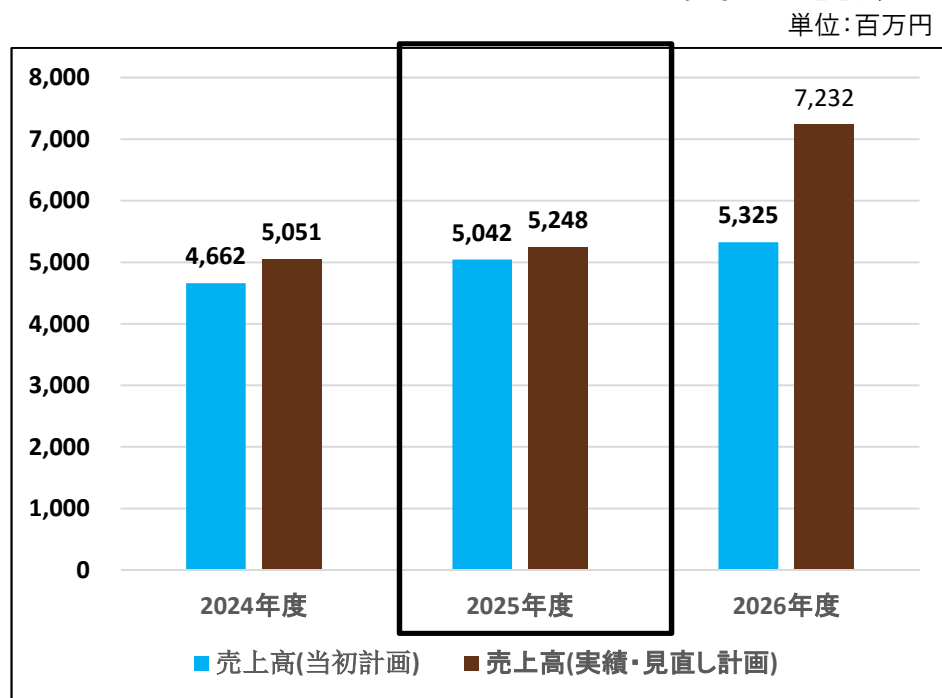
(2027～)
更なる飛躍へ

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、先行き不透明となり、2020年度の計画は見送られた。

①「復活東邦」に掲げた2007年度の利益の達成(25年度実績)

- 次期中期経営計画に繋がるよう、開発案件、予算外アイテムの種は蒔き続けるとともに、今後の「多角化」(ポートフォリオ)の検討も行う。
- 第三期年度毎の目標値が達成できるようにバックキャスト思考で検討する。

第三期中期経営計画の25年度総括及び26年度見直し計画



- ・売上52億4,824万円(104.1%)、売上総利益7億8,260万円(100.8%)、営業利益22,173万円(114.1%)の実績となった。
- ・売上、利益共に計画を上回る実績を達成し、中期最終年度での目標達成に向けて中間時点において順調に進行している。
- ・26年度は原材料含む各種資材の急激な物価高騰、中国政府の日本へのレアメタル輸出停止措置を背景に調達先を他国へ切り替える等の影響を受けコスト増加となるが、同時に必要な価格転嫁を進めることも見直しの計画に盛り込み中期経営計画最終年度で営業利益3億1,500万円を目標とすることに修正を行った。

②サステナブル分野への取り組み(25年度実績)

➤当社は、サステナビリティに関する基本方針を掲げ、事業活動を通じて社会に貢献していくことを目指す。中期経営計画(24年度～26年度)では、持続可能な開発目標「SDGs」17の目標と事業活動から、特に関連性の高い13の目標(活動15)を選定し取り組んだ。

当社活動	指標	25年度	
		目標	達成度
核融合炉用高熱負荷受熱機器開発	計画	—	△
自動車電極用合金チップの開発	販売数量	—	△
マグネシウム合金製フローダイバーター向けワイヤの開発	計画	—	△
金属AMIに最適な新規合金ワイヤの開発	計画	—	○



当社活動	指標	25年度	
		目標	実績
温室効果ガスのCO2排出把握と削減	CO2排出量(削減率)	24%	62.2%

再生可能エネルギーの使用・省エネ

省力化
省人化

新規事業
(技術開発)

基幹事業(土木用部材)
事業リスク

働き方改革
人材創出



当社活動	指標	25年度	
		目標	実績
超硬合金を活用した地雷除去装置の開発	販売金額	40.3%	100%
事業継続リスクの強化	取引先開拓	1件	3件
材料(紛争鉱物)のリスク評価実施と強化	顧客満足	100%	100%

当社活動	指標	25年度	
		目標	実績
自動化・ロボット化推進	導入件数	1件以上	0件

当社活動	指標	25年度	
		目標	実績
正社員に占める女性割合	女性比率	14.0%	13.6%
女性係長以上増員	増員数	3名	3名
有給休暇取得促進	最低日数	8日以上	90.3%
フレックスタイム活用促進	実績	—	3名
職場困りごと検討	実績	—	—

③資本市場からの信認度の向上(25年度実績)

➤ステークホルダーに対して情報開示、開発製品等のプレスリリース等を積極的、継続的に行う。

日時	開示情報、プレスリリース	URL
26.6.27	26年度3月期 決算報告	https://www.tohokinzoku.co.jp/wp-content/uploads/tohoIR20260629.pdf
26.5.15	SBT(Science Based Targets)実績報告	https://www.tohokinzoku.co.jp/wp-content/uploads/SBTjisseki2025.pdf
25.10.27	26年3月期 中間決算報告	https://www.tohokinzoku.co.jp/wp-content/uploads/tohoIR20251027.pdf
25.9.24	中期経営計画を更新しました	https://www.tohokinzoku.co.jp/wp-content/uploads/Revive2026-2.pdf
25.6.26	25年度3月期 決算報告	https://www.tohokinzoku.co.jp/wp-content/uploads/tohoIR20250626.pdf
25.5.31	SBT(Science Based Targets)実績報告	https://www.tohokinzoku.co.jp/wp-content/uploads/SBTjisseki20241.pdf
25.4.23	5/14～16 高機能素材Week大阪に出展します	5/14～16 高機能素材Week大阪に出展します タングステン モリブデン 銅タン 超硬加工の 東邦金属株式会社
25.4.23	4/24～25 機能性繊維フェア2025に出展します	4/24～25 機能性繊維フェア2025に出展します タングステン モリブデン 銅タン 超硬加工の 東邦金属株式会社

中長期的な企業ビジョン 重点施策

企業ビジョンを達成するために…

中期経営計画9カ年(2017～2026年度)では過去最高水準の
営業利益314百万円以上を達成し、「復活東邦」を成し遂げる。

第三期中期経営計画概要

重点施策

- ①事業の位置づけ(事業分野の設定と戦略の実行)
- ②働きがいのある職場形成への更なる探求と新しい働き方の推進
- ③ガバナンス体制の維持

第1期

(2017-2019)

既存事業の強化
新たな分野への種を蒔く

第2期

(2021-2023)

既存事業の選択と集中
苗を育てる

(2027～)

更なる飛躍へ

第3期

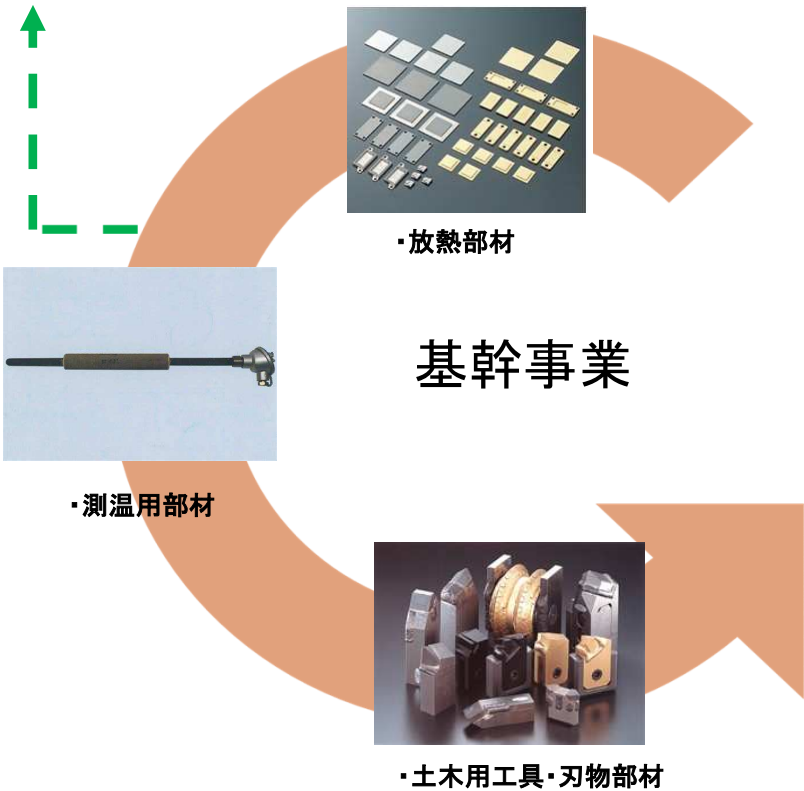
(2024-2026)

稲穂を刈り取る

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、先行き不透明となり、2020年度の計画は見送られた。

基幹事業

下記の製品群は、当社コア事業の中で、市場占有率は高く、今後も成長が見込まれており、収益の向上により経営資源の最適配分を図る。

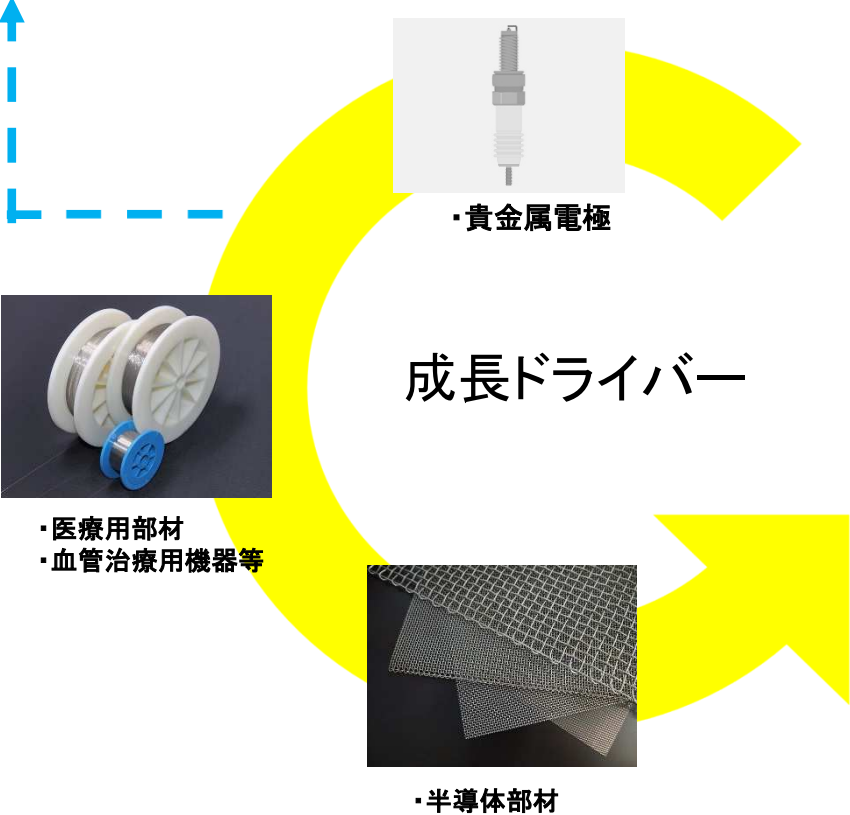


事業	達成度	内容
放熱部材	104.8%	生成AI向けデータセンターの需要の高まりを受けて光通信用の部材が好調であった。
測温用部材	95.4%	ほぼ計画通りの達成となった。
土木用工具 刃物部材	89.8%	地雷除去部材は一段落し、削岩機用のビット販売が伸び悩んだ。工業用刃物は在庫調整の影響を受け減少した。

基幹事業全体では見込んでいた規模拡大に至らなかったものの、放熱部材では高まる需要の影響を受け堅調に収益を伸ばし、他事業へ経営資源として配分した。

成長ドライバー

下記の製品群は、市場占有率及び成長率が高く、経営資源を展開し、規模の拡大を目指す。



規模の拡大

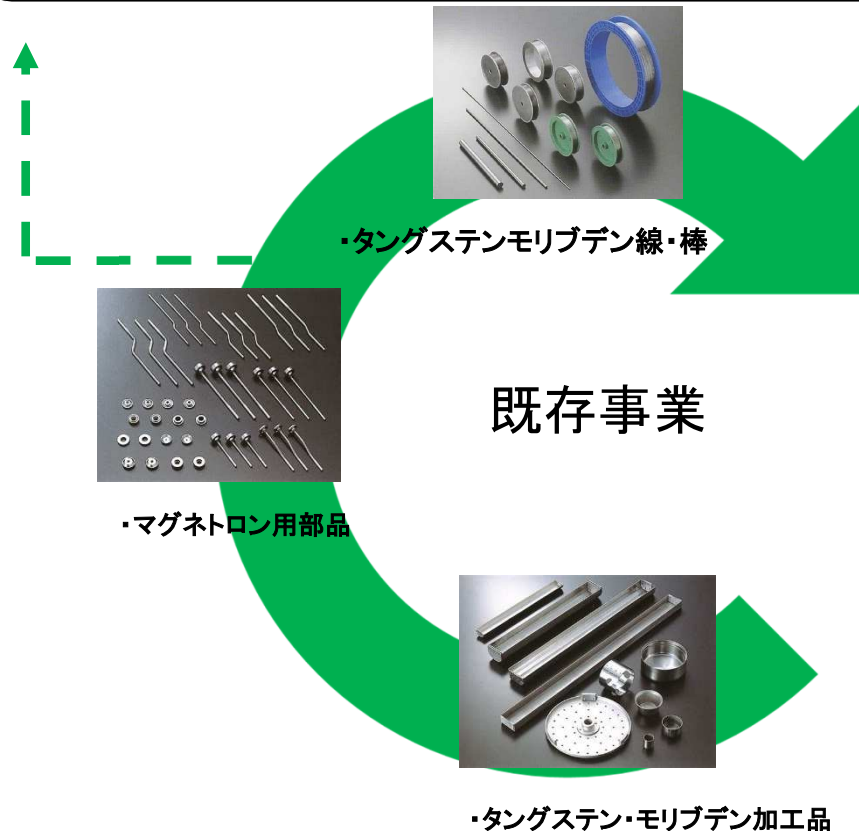
事業	達成度	内容
貴金属電極	98.8%	EV化の鈍化で内燃機関用貴金属電極は産業用も含め需要が堅調であった。
医療用部材	77.8%	顧客在庫調整で需要が低調であった。
半導体部材	86.8%	顧客在庫調整で需要が低調であったが、下期からは回復傾向に推移した。

成長ドライバー全体では見込んでいた規模拡大には至らなかったものの、貴金属電極は堅調な収益を維持し医療用部材、半導体部材の落ち込みをカバーし、他事業に経営資源として配分した。

重点施策①事業の位置づけ(事業分野の設定と戦略の実行) 既存事業(25年度実績評価)

既存事業

下記の製品群は、あらゆる分野で使用されており、収益の維持を探究する。但し、将来性が見込まれないと判断した製品は、経営資源を新規事業へ最適配分する。



収益性の向上

事業	達成度	内容
タングステン モリブデン 線・棒	111.2%	中国の原料輸出規制を受け、粉末関係での受注が増。また半導体向け新規顧客の受注が決まり計画を上回った。
マグネトロン用 部材	106.8%	工業用は需要増により若干回復、民生用は計画通りとなった。
タングステン モリブデン 加工品	96.9%	除電用素材の需要は堅調、一部集魚灯用の電極が回復した。

輸出規制等による原料費高騰や調達不安の影響を受けたものの、必要な価格転嫁や生産性向上を進めることにより、既存事業全体では収益性の向上に寄与した。

新規事業

下記4項目は基礎的な特許取得済み。産学官連携し研究を継続、上市に向けて追求する。

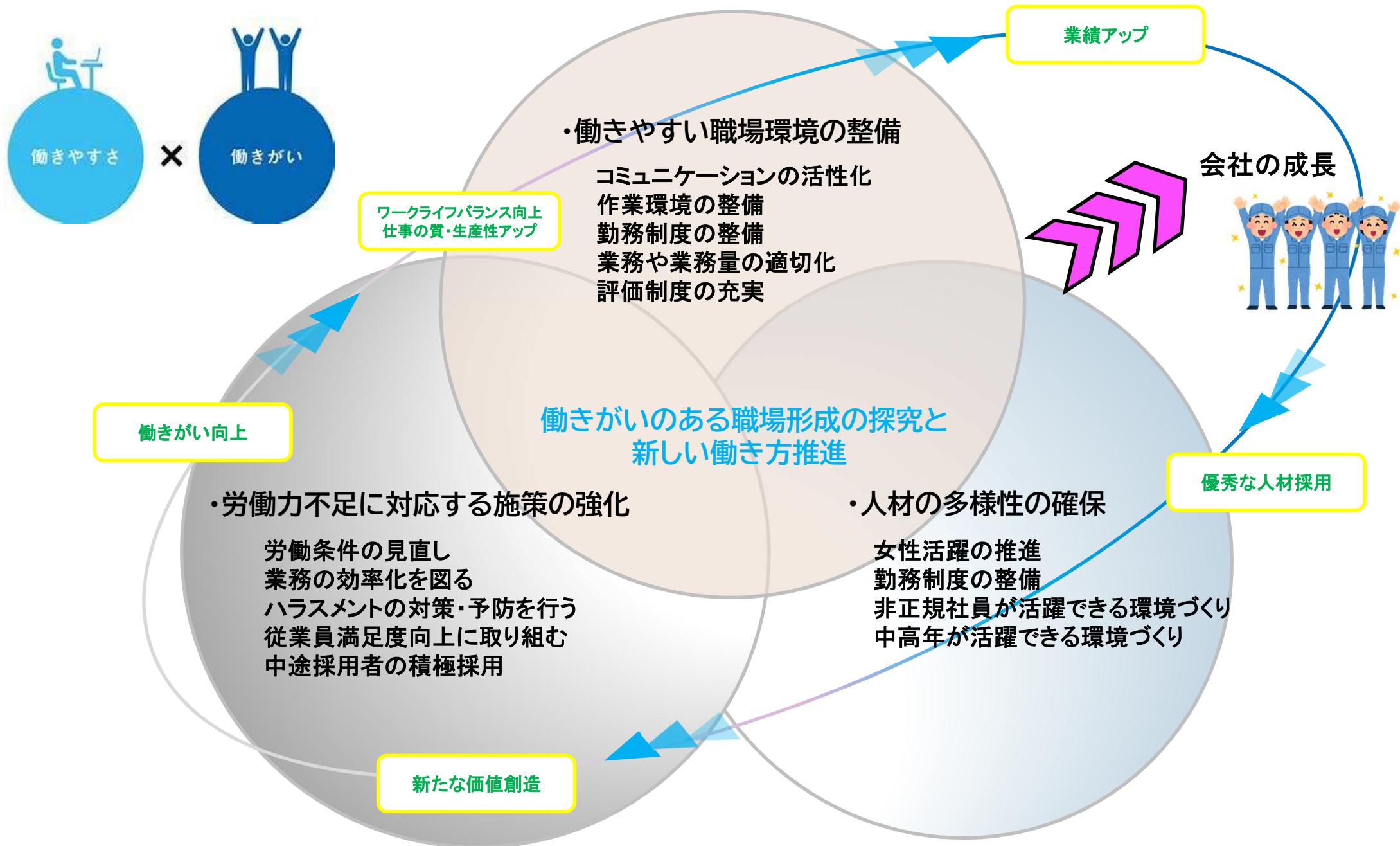


事業	達成度	内容
マグネシウム合金部材	50.0%	経済安全保障重要技術育成プログラムが本格的に始動し、生産体制への様々な投資に繋がられた。ユーザーを絞り、最適な材料選定及びワイヤ製作を行えた。
核融合部材	85.0%	実製品規模のサンプル試作・提供を実施。課題点等について精査・改善取り組みを実施中。
放射線遮蔽用部材	55.0%	高機能素材WEEK(インテックス大阪)に出展し、新規顧客数社と検討・試作を行った。
産業用電極部材	146.6%	堅調に販売推移しており、今後改良品も上市に向け開発中である。

多角化を見据えた新規事業立ち上げは順調に推移しているものの、2025年度終了時点ではその多くの事業で上市までには至っていない。産業用電極部材については上市後、堅調に販売が伸び収益性の向上に大きく寄与した。

重点施策②

働きがいのある職場形成への更なる探求と新しい働き方の推進



ガバナンス＝監視・統制する仕組み

コンプライアンス

＝法令順守・社会規範
社内規則・CSR

- ハラスメント対策
- 適切な労務管理
- 情報漏えい
- 粉飾決算
- 安全と品質・環境保全
等々

リスクマネジメント

＝リスクを把握・予防する
プロセス

- 労務管理
- BCP
- 与信管理・在庫管理
- 品質・環境管理
- 内部統制
等々

これらを客観的に調査し、
評価・助言を行う

内部監査部門

コンプライアンス、リスクマネジメントにおいて当社内部監査室、ISO管理室による
サンプリング調査実施の結果、適切に運営されていることを表明します。

本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。